第61号議案

府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例及び府中市景観条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和 7 年 8 月 2 9 日

提出者 府中市長 高 野 律 雄

(説明)

新たに建築制限等を行う区域を設けるため、所要の改正を行うものであります。

府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例及び府中市景観条例の一部を改正する条例

(府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正)

第1条 府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例（平成17年6月府中市条例第16号）の一部を次のように改正する。

次の表中、下線が引かれた部分については、改正前を改正後のように改める。

【 】は注記である。

改正後									改正前	
別表第1（第2条）									別表第1（第2条）	
番号	区域								番号	区域
省略									省略	
<u>18</u>	<u>令和 年 月府中市告示第 号に定める府中都市計画北山町・西原町地区地区計画の区域のうち、地区整備計画が定められた区域（以下次表において「北山町・西原町地区地区整備計画区域」という。）</u>								【追加】	
別表第2（第3条～第11条）									別表第2（第3条～第11条）	
1～17 省略									1～17 省略	
<u>18</u>	<u>北山町・西原町地区地区整備計画区域</u>								【追加】	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク		

計画地区の区分	建築物の用途の制限	建築物の容積率の最高限度	建築物の建ぺい率の最高限度	建築物の敷地面積の最低限度	壁面の位置の制限	建築物の高さの最高限度	建築物の形態又は意匠の制限	垣又は柵の構造の制限
住商共存地区	次に掲げる建築物 (1) マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類するもの (2) 公衆浴場 (3) 自動車教習所 (4) 倉庫業を営む倉庫 (5) 畜舎	二	二	100平方メートル	1 建築物の外壁又はこれに代わる柱の面（以下この表において「壁面」という。）から道路境界線又は隣地境界線までの距離は、0.5メートル以上としなければならない。ただし、次の各号のい	20メートル	二	生け垣又は透過性を有するフェンス(当該垣又は柵の基礎の部分のうち、高さが0.4メートル以下の部分及び門柱を除き、道路に面する部分に設ける場合に限る。)

【追加】

(6) 法別表
第2(と)
項第3号
に規定す
る工場
(7) ガソリ
ンスタン
ド
(8) 液化石
油ガスス
タンド
(9) 風當法
第2条第
9項又は
第13項
に定める
営業に係
る建築物

ずれかに
該当する
建築物に
ついて
は、この
限りでな
い。
(1) 外壁
又はこ
れに代
わる柱
の中心
線の長
さの合
計が3
メート
ル以下
である
もの
(2) 物置
その他
これに
類する
用途
(自動
車車庫
及び自
転車駐
車場を

【追加】

除く。)に供するものであって、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、床面積の合計が5平方メートル以内であるもの

③ 自動車車庫又は自転車駐車場で軒の高さが2.3メートル以下である

【追加】

もの
2 幅員が
それぞれ
6メート
ル未満の
道路が交
わる角敷
地（交わ
ること
より生じ
る内角が
120度
以上の場
合を除
く。以下
この表に
おいて同
じ。）にお
ける壁面
は、敷地
の隅を頂
点とする
長さ2メ
ートルの
底辺を有
する二等
辺三角形
の当該底
辺となる

【追加】

					線を越えてはならない。			
沿道住宅地区	次に掲げる建築物 (1) 神社、寺院、教会その他これらに類するもの (2) 墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)第2条第6項に規定する納骨堂(以下この表において「納骨堂」という。)	二	二	100平方メートル	1 壁面から道路境界線又は隣地境界線までの距離は、0.5メートル以上としなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する建築物については、この限りでない。 (1) 外壁又はこれに代わる柱の中心線の長	1.5メートル	二	生け垣又は透過性を有するフェンス(当該垣又は柵の基礎の部分のうち、高さが0.4メートル以下の部分及び門柱を除き、道路に面する部分に設ける場合に限る。)

【追加】

さの合
計が3
メート
ル以下
である
もの
(2) 物置
その他
これに
類する
用途
(自動
車車庫
及び自
転車駐
車場を
除く。)
に供す
るもの
であっ
て、軒
の高さ
が2.3
メート
ル以下
で、か
つ、床
面積の
合計が

【追加】

5平方
メートル
以内
である
もの
③ 自動
車車庫
又は自
転車駐
車場で
軒の高
さが
2.3
メートル
以下
である
もの
2 幅員が
それぞれ
6メートル
未満の
道路が交
わる角敷
地におけ
る壁面
は、敷地
の隅を頂
点とする
長さ2メ

【追加】

					メートルの底辺を有する二等辺三角形の当該底辺となる線を越えてはならない。			
中層住宅A地区	次に掲げる建築物 (1) 神社、寺院、教会その他これらに類するもの (2) 納骨堂	二	二	100平方メートル	1 壁面から道路境界線又は隣地境界線までの距離は、0.5メートル以上としなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する建築物については、この限りでない。	20メートル	二	生け垣又は透過性を有するフェンス(当該垣又は柵の基礎の部分のうち、高さが0.4メートル以下の部分及び門柱を除き、道路に面する部分に設ける場合に限る。)

【追加】

- (1) 外壁
又はこれに代
わる柱
の中心
線の長さ
の合計が3
メートル以下
である
もの
- (2) 物置
その他
これに
類する
用途
(自動車
車庫
及び自
転車駐
車場を
除く。)
に供す
るもの
であっ
て、軒
の高さ
が2.3

【追加】

メートル以下
で、かつ、床
面積の
合計が
5平方
メートル
以内
である
もの
(3) 自動
車車庫
又は自
転車駐
車場で
軒の高
さが
2.3
メート
ル以下
である
もの
2 幅員が
それぞれ
6メート
ル未満の
道路が交
わる角敷

【追加】

					地における壁面は、敷地の隅を頂点とする長さ2メートルの底辺を有する二等辺三角形の当該底辺となる線を越えてはならない。			
中層住宅B地区	次に掲げる建築物 (1) 神社、寺院、教会その他これらに類するもの (2) 納骨堂	二	二	110平方メートル	1 壁面から道路境界線又は隣地境界線までの距離は、0.5メートル以上としなければならない。ただし、次の各号のいずれ	1.5メートル	二	生け垣又は透過性を有するフェンス(当該垣又は柵の基礎の部分のうち、高さが0.4メートル以下の部分及び門柱を除き、道路

【追加】

かに該当する建築物については、この限りでない。

(1) 外壁

又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3メートル以下であるもの

(2) 物置

その他これに類する用途（自動車車庫及び自転車駐車を除く。）

に面する部分に設ける場合に限る。）

【追加】

に供するものであって、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、床面積の合計が5平方メートル以内であるもの

(3) 自動車車庫又は自転車駐車場で軒の高さが2.3メートル以下であるもの

【追加】

					2 幅員がそれぞれ6メートル未満の道路が交わる角敷地における壁面は、敷地の隅を頂点とする長さ2メートルの底辺を有する二等辺三角形の当該底辺となる線を越えてはならない。			
低層住宅A地区	次に掲げる建築物 (1) 神社、寺院、教会その他これらに類するものの	二	二	110平方メートル	1 壁面から道路境界線又は隣地境界線までの距離は、0.5メートル以	10メートル	二	生け垣又は透過性を有するフェンス(当該垣又は柵の基礎の部分のうち、

【追加】

(2) 納骨堂

上としな
ければな
らない。
ただし、
次の各号
のいずれ
かに該当
する建築
物につい
ては、こ
の限りで
ない。

(1) 外壁

又はこ
れに代
わる柱
の中心
線の長
さの合
計が3
メート
ル以下
である
もの

(2) 物置

その他
これに
類する
用途

高さが
0.4メー
トル以下
の部分及
び門柱を
除き、道路
に面する
部分に設
ける場合
に限る。)

【追加】

(自動車車庫及び自転車駐車場を除く。)に供するものであって、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、床面積の合計が5平方メートル以内であるもの

(3) 自動車車庫又は自転車駐車場で軒の高

【追加】

さが
2.3
メートル以下
である
もの
2 幅員が
それぞれ
6メートル未満の
道路が交
わる角敷
地におけ
る壁面
は、敷地
の隅を頂
点とする
長さ2メ
ートルの
底辺を有
する二等
辺三角形
の当該底
辺となる
線を越え
てはなら
ない。

【追加】

(府中市景観条例の一部改正)

第2条 府中市景観条例(平成19年12月府中市条例第23号)の一部を次のように改正する。

次の表中、下線が引かれた部分については、改正前を改正後のように改める。

(【 】は注記である。)

改正後		改正前	
別表(第13条の2)		別表(第13条の2)	
適用区域		適用区域	
番号	区 域	番号	区 域
省 略		省 略	
<u>12</u>	<u>令和 年 月府中市告示第 号に定める府中都市計画北山町・西原町地区地区計画の区域のうち、地区整備計画が定められた区域</u>		【追加】

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(府中市景観条例の一部改正に伴う経過措置)

2 この条例の施行の際、第2条の規定による改正後の府中市景観条例(以下「新景観条例」という。)の規定の適用を受ける区域のうち、別表12の項に規定する区域(以下「適用区域」という。)内に現に存する建築物若しくは工作物(以下「建築物等」という。)又は現に適用区域内において新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替若しく

は色彩の変更の工事中の建築物等が、新景観条例第13条の2の規定に適合しない場合又は同条の規定に適合しない部分を有する場合においては、当該建築物等又はそれらの部分に対しては、新景観条例第3章の2の規定は、適用しない。